

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【公表番号】特表2016-505324(P2016-505324A)
 【公表日】平成28年2月25日(2016.2.25)
 【年通号数】公開・登録公報2016-012
 【出願番号】特願2015-549637(P2015-549637)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 5 0 2

A 6 1 M 25/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月13日(2016.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カテーテル用テーパ状遠位先端部を形成する方法であって、
 マンドレル及び保持ハイポチューブを与え；
 該マンドレル及び該ハイポチューブ上に第 1 外径を有する先端部第 1 材料を配置し；
 該マンドレルの上及び該第 1 材料の下に第 2 外径を有する先端部第 2 材料を配置し、こ
 こで、該第 1 外径は、該第 2 外径よりも大きく；
 熱収縮材料の収縮管を、該第 1 材料及び該第 2 材料の少なくとも接合部の周りに配置し
 ；
 該収縮管を加熱し；
 該第 1 材料及び第 2 材料を冷却し；そして
 該収縮管及びハイポチューブを除去すること
 を含む方法。

【請求項 2】

前記第 1 材料が約 50 ～ 60 のショア D デュロメータ硬度を有するポリエーテルブロッ
 クアミドを含み、前記第 2 材料が約 60 ～ 70 のショア D デュロメータ硬度を有するポリ
 エーテルブロッカミドを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 材料が約 55 のショア D デュロメータ硬度を有し、前記第 2 材料が約 63 のシ
 ョア D デュロメータ硬度を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 材料が前記ハイポチューブの遠位背部に当接する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 材料が前記ハイポチューブの遠位脚部に当接する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記収縮管を加熱することが、前記収縮管、前記第 1 材料及び前記第 2 材料を、該収縮
 管、該第 1 材料及び該第 2 材料の周りに円を形成するように構成された 2 個の加熱ダイ間
 に集中させることを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記収縮管、前記第 1 材料及び前記第 2 材料を約 250 ° F ~ 500 ° F (121 ~ 260) の間に加熱する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記収縮管、前記第 1 材料及び前記第 2 材料を約 0 . 25 ~ 60 秒間にわたって加熱する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の方法に従って形成された遠位先端部を備えるカテーテル。

【請求項 10】

カテーテル用テーパ状遠位先端部を形成する方法であって、

マンドレル及び保持ハイボチューブを与え；

該マンドレル及び該ハイボチューブ上に第 1 ショア D デュロメータ硬度を有する第 1 ポリエーテルブロックアミドを配置し；

該マンドレル上及び該第 1 ポリエーテルブロックアミド下に該第 1 ショア D デュロメータ硬度よりも大きい第 2 ショア D デュロメータ硬度を有する第 2 ポリエーテルブロックアミドを配置し；

熱収縮材料の収縮管を、該第 1 ポリエーテルブロックアミド及び該第 2 ポリエーテルブロックアミドの少なくとも接合部の周りに配置し；

該収縮管、前記第 1 材料及び前記第 2 材料を、該収縮管、該第 1 材料及び該第 2 材料の周りに円を形成するように構成された 2 個の加熱ダイ間に集中させ；

該第 1 ポリエーテルブロックアミド及び第 2 ポリエーテルブロックアミドを冷却し；そして

該収縮管及び該ハイボチューブを除去することを含む方法。

【請求項 11】

前記第 1 ポリエーテルブロックアミドが前記ハイボチューブの遠位背部に当接する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 2 ポリエーテルブロックアミドが前記ハイボチューブの遠位脚部に当接する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記収縮管、前記第 1 ポリエーテルブロックアミド及び前記第 2 ポリエーテルブロックアミドを約 250 ° F ~ 500 ° F (121 ~ 260) の間に加熱する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

前記収縮管、前記第 1 ポリエーテルブロックアミド及び前記第 2 ポリエーテルブロックアミドを約 0 . 25 ~ 60 秒間にわたって加熱する、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

請求項 10 に記載の方法に従って形成された遠位先端部を備えるカテーテル。